

# 建設通信新聞

## 広島で技術講習会

### ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(原裕理事長)は23日、広島市の広島国際会議場で「ミラクルソル工法技術講習会」を開いた。写真。約140人の建設技術者が参加した。

開会に先立ち原理事長がミラクルソル工法の開発や協会



発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2023

発足の経緯などを紹介するとともに、同工法の広がりについて「コロナ禍で少し鈍っていたが、ここにかけて東南アジアで活気づいている。引き続き、社会に貢献できる工法であることを説明していきたい」と述べた。

続いて、中国地方整備局の山田明企画部技術調整管理官が「公共事業に関する最近の話題」と題して特別講演し、働き方改革等の推進やDX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みなどを

語った。

この後、原理事長が「ミラクルソル工法でグリーン社会への挑戦」をテーマに、温暖化緩和のためのミラクルソルを用いた環境緑化、環境土木工法の効果を説明。また、協会の荒木宏之顧問が「接触材を使った水質浄化の基本原理から見たミラクルソルの有用性と優位性」と題し、多孔質廃ガラス材料ミラクルソルを接触材として使った場合の優れた機能や性能を実例を示しながら解説した。